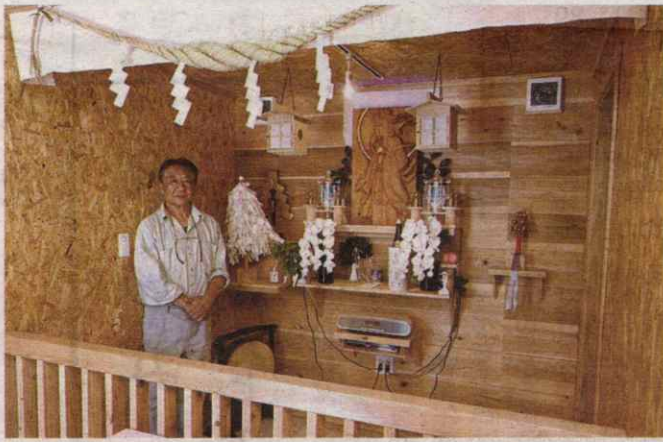


里山辺にペット葬祭場

6月オープン 神職の藤井さん準備

1日、犬や猫の告別式 総合葬祭場がオープン



ペットとのお別れの式を行う祭壇と藤井さん

松本市里山辺に6月と火葬を行うペットの1日、犬や猫の告別式 総合葬祭場がオープンする。里山辺の神職・藤井公貴さん(65)が社長を務め、福祉施設などを営んできた企業が運営。藤井さん自身が神式でペットとの告別式を執り行う。

約530平方メートルの敷地内に火葬棟、祭壇棟、待合室2棟、事務室を輸送用コンテナなどを再利用して設けた。火葬棟には、重さが45キの動物まで対応できる最新の専用火葬炉を設置。環境に配慮し、発生した煙や臭いを再度燃焼して取り除き、外部に出さない構造になっているという。祭壇棟は、ペットを安置し、藤井さんの神事で家族が参列してお別れの式を営める。藤井さんがペットの葬祭場を考え始めたのは、愛犬の死がきっかけだった。市営葬祭センターでの火葬は予約がいつばいで4日間待ち、すぐに火葬できなかった。「家族のペットを天国に大切に送ってあげたい。そう願う人は多いはず」と開設へ動き出した。建設業や設備業の知人が趣旨に賛同し、藤井さんが準備した材料を使って安価で仕上げた。

「天望縁松本ペット葬祭場」と名付け、1日5組(1組2時間)の予約制をとる。ハムスタ

ーや鳥などの小動物にも対応する。料金はペットの重さで変わり、3万〜3万5000円程度が基本。24日にホームページを開設し、料金や予約状況などを確認できる。ペット用霊きゆう車も備える。塩尻市北小野に来春までに、同様の施設を開設する準備も進める。藤井さんは「ペットを亡くした家族に寄り添うことを大切にしたい。自分の集大成の事業として取り組みたい」と語る。問い合わせは天望縁(☎090・3678・0505)へ。(真田尚子)

松本で高校女子野球大会

カップズ 第2回全国大会 9月決定

松本市は20日、全国の高校女子硬式野球チームが集う「松本ローズカップ」を、9月28日と29日に信州グリーンローズスタジアム四日市で開催することが決まると発表した。昨年同様、全国から集まる選手たちに豚汁を振る舞ってほしいとした。今年に続き2回目の開催で、全国の高校女子野球の地域リーグ代表校と選抜の7チーム、地元枠の松本国際高校が全日本女子野球連盟から「女子野球タウン」として認定を受けている全国16の都市で、全国大会を独自開催するのは松本市のみ。松本市は令和3年に女子硬式野球のリーグ戦・ヴィーナスリーグも開かれる。市スポーツ事業推進課の山本茂課長は「女子野球の全国大会を毎年開催し、女子野球タウンを盛り上げていきたい」と話している。(田子元気)